

澤 柁 汰

第72回国民体育大会「2017愛顔つなぐえひめ国体」
ホッケー競技 少年男子 優勝
不来方高3年(ポジション・GK)

さらなる高みを目指して

壮士凌雲

第72回国民体育大会

「2017愛顔つなぐえひめ国体」ホッケー競技少年男子は、10月1日から5日までの5日間、愛媛県の松前町ホッケー公園ホッケー場で行われました。

岩手県選抜チームは決勝で、横田高単独で出場している島根県チームと3-3で優勝を分け合い、2000年以来17年ぶりの日本一に輝きました。

全3試合で岩手県のゴールを守り、優勝に貢献した本市出身の澤柁汰選手に、競技を始めたきっかけ、国体での思い出、今後についてなど、インタビューしました。

——国体を振り返ってどのような大会でしたか。

愛媛県との初戦は、地元の大声援にのまれられないようにプレーすることができ、逆転勝ちした福井県との試合は、リードされていても焦らず粘り強く戦うことができました。島根県との決勝は、自分が点を入れられなければ負けることはないと思死にプレース、失点はしてしまいました。チームとして最後まで気持ち切りが切れなかったことが、追い付けた要因だと思います。

——ホッケーの魅力は。

一番の魅力はスピード。試合展開のスピードも速いですが、シュートのボールスピード

ドは、サッカーと比べものにならないくらい速いです。GKは、そのシュートスピードと正面から向かい合うポジションで、防具を付けていても怖いですし、痛いですが(笑)、自分が防いで勝ったときは、とてもうれしいです。

——今後の目標は。

大学に進み、ホッケーを続けます。常に上を目指し、将来的には「日本代表」でプレーすることが目標です。

また、自分も高校からホッケーを始め、どっぷりのめり込んでしまった一人。やってみれば楽しいことが分かってもらえると思うので、普及もしていきたいです。

Sawa Shuta

PROFILE／平成11年、八幡平市南寄木出身。松尾中卒。身長174^{cm}、体重70^{kg}。中学時代はサッカー部に所属し、ポジションはGK。サッカーを続けるつもりで入学するも、先輩の誘いを受けホッケーを始める。今、夢中なことは「ホッケー」と、すっかりホッケーのとりこに。

第72回国民体育大会「2017愛顔つなぐえひめ国体」

ホッケー競技少年男子【試合結果】

▶準々決勝(10月3日)5-1 愛媛県 ▶準決勝(10月4日)2-1 福井県 ▶決勝(10月5日)3-3 島根県

